

令和元年度 第1回千曲市教育振興審議会会議録（要約）

1 日時

令和元（2019）年11月11日（月）午後1時28分から午後3時29分

2 場所

千曲市役所 302 会議室

3 会議日程

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 会長あいさつ
4. 会議事項
5. 閉会

4 会議事項

- (1) 平成30年度事業実績の説明及び意見・提言の聴取
- (2) その他

5 出席者

○委員

宮崎樹夫委員、酒井康行委員、坂田和弥委員、寺澤孝一委員、町田由美子委員、安藤秀一委員、寺澤和治委員、亀山正明委員、久保田英雄委員、君島一字委員、滝沢祐子委員、田島仁委員

○事務局

教育長、教育部長、教育総務課長、生涯学習課長、スポーツ振興課長、文化課長、歴史文化財センター所長、第1学校給食センター所長、教育総務課総務係長

会議事項

(1) 平成30年度事業実績の説明及び意見・提言の聴取

【教育総務課】①～⑥

- 教育総務課長 委員 一資料に基づき説明—
委員 今後の方向性についてですが、まず③のALTですが、30年度の人数を維持して、更に増員をしたいということですか。
- 教育総務課長 現在ALTは、小学校に3人、中学校に3人配置していますが、中学校が4校ありますことから、もう1人増えると理想的と考え、予算要求をしていく予定です。
- 委員 5、6年生の実績が年間30時間、月にすると2.5時間ありますが、これは近隣市町村と比較して多いのでしょうか、少ないのでしょうか。
- 教育総務課長 来年の本格実施からは5、6年で70時間、3、4年で35時間と示されています。
- 委員 国が示している時間に対して、まだ追いついていないということですね。
- 教育部長 来年からの英語の授業時間は、学年に応じて先ほどのとおり国から示されておりますが、その内でALTが授業に参加する時間が30時間といったものです。
- 委員 部活動の問題ですが、なかなか指導者を確保するのが難しいとのことでしたが、この指導員というのはボランティアですか、有償ですか。
- 教育総務課長 有償です。
- 委員 その場合は、身分は保障されているのでしょうか。
- 教育総務課長 非常勤の公務員となります。
- 委員 事故が生じた場合は、公務災害の対象ということでよろしいのでしょうか。
- 教育総務課長 対象となります。
- 委員 ⑥の高校の問題ですが、屋代南高校を多部制・単位制に転換するということは良いのですが、そもそも高校の一学年を6から8クラスにするという県教委の方針に問題があり、意見を言いたいと思います。
- 会長 これは、ここでは対応のできることでございませぬので、ご意見をいただいたということにいたします。
- 委員 指導員としては中学校各校に1名ずついるかと思いますが、実際にはもっと多くの方が指導に携わっています。ところが正式に指導員となると公務員の扱いにはなりません、土日の引率なども責任をもって行わなければならないとなります。多くの人に折角指導はしてもらっているものの、そこまではということになり、二の足を踏んでいるという現状があります。その辺りが解決できると、もっと盛んになると思います。
- 委員 ALTの問題ですが、中学校を増員して各校1名ずつにというのは、大変良いことだと思います。人材確保の難しさもあるかと思いますが、予算が許すのであれば、小学校のATLも増やしてもらえると良いと思います。
- 教育総務課長 部活動指導員に関しましては、教員の負担を軽減するというで行っているものですが、指導員においては報酬が出るものの、そういった負担が生じているのかと思います。ALTに関しましては、ようやく昨年から6名体制にすることができましたところですので、理想はもっと欲しいところではありますが、現実的にまずは1名増員を考えております。
- 委員 中学校現場としましては、部活動指導員の存在は大変ありがたく、どの学校でも教員の負担が軽減されていますし、また、専門的な技術なども教えてもらえますので、子ども達にとっても良いものとなっていると思います。しかし、我が校には指導員がおらず、人材の調整がなかなか難しい状況があります。この人をお願いしたいなと思っても、指導員となりますと報酬が出ると

いうことで、その方の勤め先の会社からOKが出ないということがあります。無償でやってもらうとなると、これまでと何らかわりがないということになり、学校現場とすると相応しい人を探すのが非常に困難であります。大変良い制度ですので、これからも是非続けていってほしいです。

委員
教育総務課長
スポーツ振興課長

市では人材バンクの様なものはないのでしょうか。
そういったものはありませんので、現状では人脈により探している状態です。人材バンクというものではありませんが、スポーツ協会の指導者については、把握ができております。しかし、指導員として各学校へ入るのには難があります。

委員

学校へ指導に入るとなると、まず仕事、時間の問題がありますし、ボランティアで練習を見るのは良いのですが、土日の引率まではなかなかできないということでその足を踏んでしまうことがあります。

会長

参考ですが、信大の付属松本中学校では、松本山雅の指導システムを活用しています。そういったスポーツ団体を直接当たってみるのも良いかと思いません。

委員

UIJの優遇制度であります。申請の実績がないということで、今後PR方法を検討していくとのことでしたが、今年の市報には掲載があったのでしょうか。紹介方法を検討していきとりましたが、これまでと違う方法での広報はありましたか。

スポーツ振興課長

前担当者としてお答えします。市報では平成31年4月号に掲載いたしました。それから市のホームページに掲載をしております。現状ではこの制度の対象となるだろう方として把握できるのは、千曲市の奨学金を借りている方のみで、他の制度の奨学金利用者の情報は把握することができません。教育委員会として直接広報をするにも、千曲市の奨学金利用者にはできない状況があります。しかし、UIJターンは、産業振興課等でも取り組んでいますので、庁内の連携を図りながら、例えば事業所の人事担当などを通して情報を伝えるなどといったことを行っていかなければと思います。この奨学金償還優遇制度は、UIJターンを促進するための1つの施策として行っているものですので、移住定住策をメインで行っている部署からも制度の紹介をしていただくことができるのではと考えております。

委員

住民票の異動手続きを行った際に、その窓口でお知らせすることはできないですか。

スポーツ振興課長
委員

どの方が奨学金の利用者がわかりませんので、難しいです。
就業と移住・定住が一緒になってしまうと、難しいものがあるのかと思います。地元に戻りたい、移住をしたいと思っても、事業所の種類、数が地方には少ないという状況があるので、まずは勉強したことが仕事で活かせる地域づくりが必要かと思えます。戻りたくても戻れない人もいるかと思えますので、その辺りを考えていかれたら良いと思います。

委員

転入手続きの際のPRが有効と考えます。事業所を通してのPRも良いと思います。それから毎年開催しています成人式でも周知したら良いのではと思います。とにかく制度を知っていただくことが大事です。

【生涯学習課】⑦～⑨

生涯学習課長
委員

—資料に基づき説明—

⑧に関してですが、上山田地区につきましては独立した公民館がないため、上山田文化会館を借りて公民館活動を行うのですが、施設使用料金がとても高いです。更に今年の10月から大きく値上げがされました。いろいろと活動をしたいのですが、施設の使用料があまりに高額になってしまっとうなの

かと思えます。「活動環境の整備」の中には使用する施設のこともあるかと思えますが、例えば公民館施設を別に用意するとか、公民館活動で文化会館を使用する場合に更埴地区の公民館と同水準の負担とすることなどはできないのでしょうか。また、上山田では社会福祉協議会の施設を使用して活動している方もいるのですが、市役所の新庁舎への移転に伴い、この社協の建物も閉鎖となってしまうということで、行き場を失ってしまう方がおられます。その辺いかがでしょうか。

生涯学習課長

今回の料金改定は、市施設の広範に渡って行いました。近隣市町村、同規模施設の料金を調査し、急激な負担増にならないようにこれまでの料金の最大1.5倍までという制限の中で見直しを行っております。前回の消費税増税の際に料金を据え置きましたので、今回上がり幅が大きくなりましたが、近隣施設とは同等と考えております。

上山田につきましては、上山田文化会館の一部を使用している公民館活動となっております。料金につきましては減免を行い、活発に活動できるように配慮はしております。社協施設の代わりににつきましては、文化会館や観光会館、戸倉創造館などの比較的近い公共施設をご利用いただければと思います。これらの施設も公民館活動であれば減免の対象となるはずであります。

委員

確かに減免がされて2割の負担なのですが、文化会館の元の料金が高いので実際の負担は大きいです。それから、冷暖房費が非常に高いため、皆さんからいただいている会費により活動するには、厳しい状況であります。

委員

文化施設の利用者数は、総合計画の基準値である平成27年度実績と、教育振興基本計画の基準値である平成29年度実施を比べると、2年で約13,000人減っています。更に料金の値上げがあったことから、利用者数の目標値の達成はかなり難しいと思えます。

生涯学習課長

今回の料金見直しは公共施設の再編計画等の一環として行ったものであります。料金の値上げは、利用者数減少の要因になるものと考えますが、施設の利用料金に関わらない利用者もありますし、今後各事業を実施していく中で研究をし、利用者増につながるものがあれば進めていきたいと思えます。

委員

子どもたちの「家庭と学校以外の居場所」ということを考えた場合、公民館や図書館などが考えられるところですが、千曲市としては子ども達の放課後の居場所づくり、学校に行かない、行けない子ども達の居場所づくりについて、今後想定しているものはありますか。子どもの多様性を考えた場合に、子どもを含めた若い人たちが安心して居られる居場所をつくっていくということも、行政として必要かと思えます。

生涯学習課長

子ども達の居場所づくりという点では、人的、予算的な問題もあり、なかなか十分な取り組みができていない状況であります。その中で、千曲未来塾の取り組みとして上山田公民館と八幡公民館で、放課後に子ども達を集めた学習指導が行われております。上山田の方はもっと伸ばせということで、しっかり学習をさせる。八幡の方はできるだけ幅広い年代の人が集まる場所になってほしいという基本的な考えの基で行われています。職員も1名しかいない中、地元の先生方にも面倒を見ていただきながら何とかやっているというのが実情であります。地域の皆さまの力を借りながら、学校との連携を取りながら、他にも展開していけるかが今後の課題であります。

委員

社会福祉協議会が児童館を運営していますが、そこで対応しきれない児童80人ほどを私ども屋代公民館で受け入れるかという話がありましたが、施設的なもの、指導者の問題等で話が頓挫してしまっています。

文化課長 ー資料に基づき説明ー
 委員 子ども達の技術向上に大変役立っていると思います。更埴文化会館がしばらく使えない状況であります。今後も続けていってほしいと思います。
 委員 更埴文化会館が台風被害で使用できないということですが、千曲市は文化活動が盛んでありますことから、他の施設もすでに予約が詰まっております。更埴文化会館を利用しておられた人達を他施設に移すことも難しい状況にあります。その辺りが悩みであります。各施設にご協力をお願いしたいと思います。
 会長 文化活動に関わる皆さんも高齢化してきておることから、各活動を行ううえで、市からの財政的な援助も欲しいところですが、今回の施設使用料の値上げは大変大きいものです。
 芸術、文化というものは、それをやる人はもちろん、見る人にも元気を与えるものです。例えば医療費の減少にもなっているものと思いますので、事業評価を行う際は、そういった面も含めて評価していただければと思います。
 うちの大学にも芸術分野で著名な先生がいますが、声をかけていただければ喜んで来てもらえるはずです。費用もそれほど必要ではないはずですので、是非ご活用いただければと思います。

【歴史文化財センター】⑪～⑭

歴文センター所長 ー資料に基づき説明ー
 委員 ⑪の松田家の整備事業ですが、八幡には他では見られない建物が残っていますが、いつ壊されてしまうのかと思いつながりながら見えています。街なみ整備とは具体的にはどの様なものでしょうか。
 ⑫は⑬の日本遺産にもつながるものと思いますが、「絶景」はシリアル、地域どちらで申請されたのでしょうか。
 歴文センター所長 松田家が中心になりますが、周りの武水別神社や姨捨の棚田などを考えております。
 「絶景」については、千曲市単体であります。
 委員 ⑭の稲荷山の保存地区は、昨年、治田小学校で授業で取り上げていました。住んでいるとその良さというのが分からないものですが、引き続き進めていただきたいと思っております。
 委員 ⑪の件であります。これは当然分かっていることと思っておりますが、市所有の部分を整備していくのは問題ありませんが、松田家所有の齋館等の整備に当たっては、整備していくことは良いのですが、憲法20条との関係でどの様に整備して進めていくのかを念頭に置いてやっていただければと思います。

【スポーツ振興課】⑮～⑯

スポーツ振興課長 ー資料に基づき説明ー
 〈質問、意見なし〉

【第1学校給食センター・第2学校給食センター】⑰～⑱

第1給食センター所長 ー資料に基づき説明ー
 委員 市民向けの試食会は行われたのでしょうか。
 第1給食センター所長 平成30年度は第2学校給食センターで2回、今年度は第1学校給食センターで2回実施しております。来年度は各センターで1回ずつの開催を考えています。
 委員 給食費の改定とありますが、給食費の費用負担も限界に近づいていると思われれますが、現在の1食280円がどの程度上がるのでしょうか。

第1 給食センター所長 改定に当たりましては、学校給食センター運営委員会の委員の皆さまの意見も聞きながら行っておりまして、安心・安全な給食の提供のためには値上げは致し方ないとのご意見をいただいておりますが、現段階では具体的な数字は申し上げられません。

委員 成果のところには地産地消の食材率の記載がありますが、残菜量についても記載いただき、毎年の推移が見れると良いと思います。